健康くさつ21(第2次)の目指す姿

「誰もが健康で長生きできるまち草津~健康寿命の延伸と健康格差の縮小~」

歯科保健のキャッチフレーズ「誕生日には歯科受診しつかり噛んでにこにこ笑顔」

- ・子どもから高齢者まで、全ての年代で「かかりつけ歯科医」を持ち、定期的に歯科受診をすることで、健康な歯・口腔の市民を増やします!
- ・ライフステージに応じた口腔内の清掃方法の定着を推進し、高齢者になっても自分の歯でおいしく食べられる市民を増やします!

学齢期(6~15歳) 青年期中期(14~20歳)

・草津市児童生徒歯と口の健康づくり推進事業

令和2年度草津市健康づくり推進協議会保健推進部会の内容

* 主な事業

ライフステー

乳幼児期(0~5歳)

·学校崇科健診

·妊婦歯科健康診査

- ·節目歯科健康診査
- ・かかりつけ医普及促進事業
- ・2歳6か月健診時保護者向け歯周病啓発

成人期(妊娠期)

・コラボにこにこ障害児歯科保健事業協力

高齢期

- •介護予防普及啓発
- •地域介護予防活動支援
- ・短期集中予防サービス
- ・介護事業所への出前講座等の介護予防、 口腔管理の普及啓発
- •滋賀県後期高齢者歯科健康診査事業

- ・乳幼児健診時リーフレットにて個別指導
- ・乳幼児健診時でう蝕のある児への受診勧奨
- ・親子の歯の健康デー
- ・乳幼児健診でのフッ素塗布
- 健康教育

かむカムフェスタ(草津栗東守山野洲歯科医師会)

若者の歯科保健対策と節目歯科健康診査について

【R2年度部会の意見】

- ・2 0代、3 0代の健診受診率が少ない。市民課とタイアップして婚姻届を出しに来た時に歯科健診の無料 クーポン配布をしてはどうか。
- ・婚姻届、出生届、転入届時に家族みんなでむし歯予防にとりくむことについてのチラシ配布をしてみたらどうか。
- ・若者に健診を受けてもらう機会をつくるのに、節目歯科健康診査を20代、30代にもする必要がある。
- ・5年刻みで健診できるとよりよい。

糖尿病対策と歯科保健事業について

【R2年度部会の意見等】

・歯周病と糖尿病の関係性を知らない方に対しての周知・啓発は、歯科医院以外でどうすればできるか。

【R3 年度の方向性】

切れの目ない全年代への歯科保健啓発内容の検討

→子育て相談センター・健康増進課・長寿いきがい課で連携し広報特集号への掲載や啓発チラシの作成等

【R3年度の方向性】

健康イベントや特定健康診査・がん検診等の集団けん診会場で、歯周病 と糖尿病の関係性の啓発をする。

→糖尿病と歯周病のリーフレットを配布。